



# 手づくり支援プロジェクト

～手づくりの器を直接被災地に届けよう～

## 第9回支援活動の記録 2015年2月27日～3/1日 (宮城県名取市関上)





# 名取市について

名取市は宮城県の中央南部、仙台市の南東に隣接する都市で、市内には仙台空港があります。人口(7万6千)を擁する都市であり、仙台平野におけるコメの生産、カーネーション、セリの生産が盛んであり、海産物では赤貝が有名です。

震災では標高の低い平野部が津波の影響を大きく受けて甚大な被害となりました。地震による地盤沈下も大きく、しばらく冠水した状態が続きました。

## 1. 被災状況(市役所公表データ 2014/3時点)

- 死亡者数 923人
- 安否不明者数 40人
- 仮設住宅数 969戸(8団地)

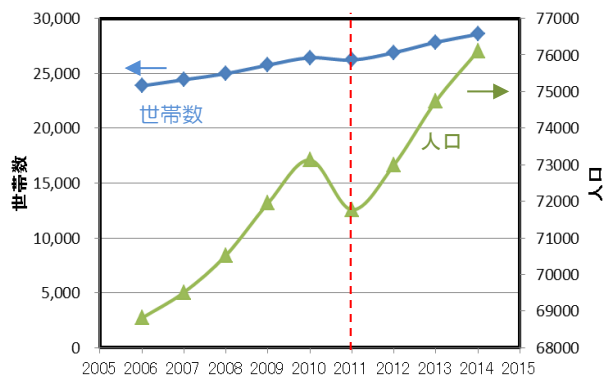
## 2. 被災棟数の内訳

全壊	半壊/大規模半壊	一部破損
2801棟	1129棟	10061棟

## 3. 世帯数、人口の変化

	世帯数	人口(人)
震災前(2011/2)	26538戸	73502
現在(2015/3)	28671戸	76312

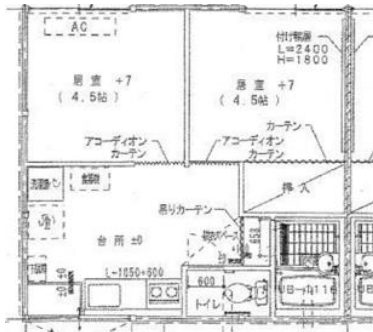
全世帯数は年々増加傾向、人口は震災で大きく減少しましたが、再び元に戻っています。(グラフは各年12月のデータ)



## 4. 仮設住宅

- 7地域に9つの仮設住宅団地、計990戸(現在は8団地969戸)
- 災害公営住宅の大幅な遅れもあり、28年までの延長措置が取られています(P10参照)。

標準間取り例(2DK：2～3人用)



仮設住宅(写真は名取市愛島地区)



標準設備：エアコン、カーテン、ガスコンロ

その他(日本赤十字社からの寄付)生活家電6点セット  
液晶TV、冷蔵庫、洗濯機、炊飯器、電子レンジ、電気ポット

家賃例(名取市データより)

収入分位	1LDK		2LDK		3LDK		備考
	約50㎡(約15坪)		約65㎡(約20坪)		約80㎡(約24坪)		
	集合	戸建	集合	戸建	集合	戸建	
1-1	6,100円	7,900円	7,900円	10,300円	9,800円	12,700円	東日本大震災 特別家賃低減策
1-2	10,300円	13,400円	13,400円	17,400円	16,500円	21,500円	
1-3	14,500円	18,900円	18,900円	24,500円	23,300円	30,200円	
1-4	18,700円	24,300円	24,400円	31,700円	30,000円	39,000円	
1-5	19,800円	25,800円	25,800円	33,500円	31,800円	41,300円	
2	22,900円	29,800円	29,800円	38,700円	36,700円	47,600円	収入超過者
3	26,200円	34,000円	34,100円	44,300円	42,000円	54,500円	
4	29,600円	38,400円	38,500円	49,900円	47,800円	61,400円	
5	33,800円	43,900円	43,900円	57,000円	54,100円	70,200円	
6	39,000円	50,600円	50,700円	65,800円	62,400円	81,000円	
7	45,600円	59,300円	59,400円	77,100円	73,100円	94,800円	
8	52,600円	68,300円	68,500円	88,900円	84,300円	109,400円	



# 仮設住宅の位置 (※名取市HPより)

全8団地 (すべて完成)

項目	数
仮設住宅	910戸
入居割合	98%
入居者数(人)	2,021人(当時)

名取市の仮設住宅は宅地や幹線道路沿いなどに点在しています。平野部が多い為、震災時に浸水した地域(下図参照)にも宅地や仮設住宅が存在しているのが特徴です。岩手などのリアス式海岸部(高台)の仮設住宅と違い、高齢者の方々にとっても非常に住みやすい立地条件であると言えます。



## 5. 名取市の被災の特徴

14時46分の地震で町内で最大震度6強が観測され、閉上漁港周辺の津波浸水高は9.1m(気象庁)とされています。名取市では標高の低い平野部が多く、また地盤沈下もあったことで、震災後数週間にわたり広域での冠水が見られました(下図参照)。

### 浸水被害図(着色部分※国土地理院データより)

※数字は浸水深(地盤面から計測)



※震災時の仙台空港





# 写真で見る被災地(2015)



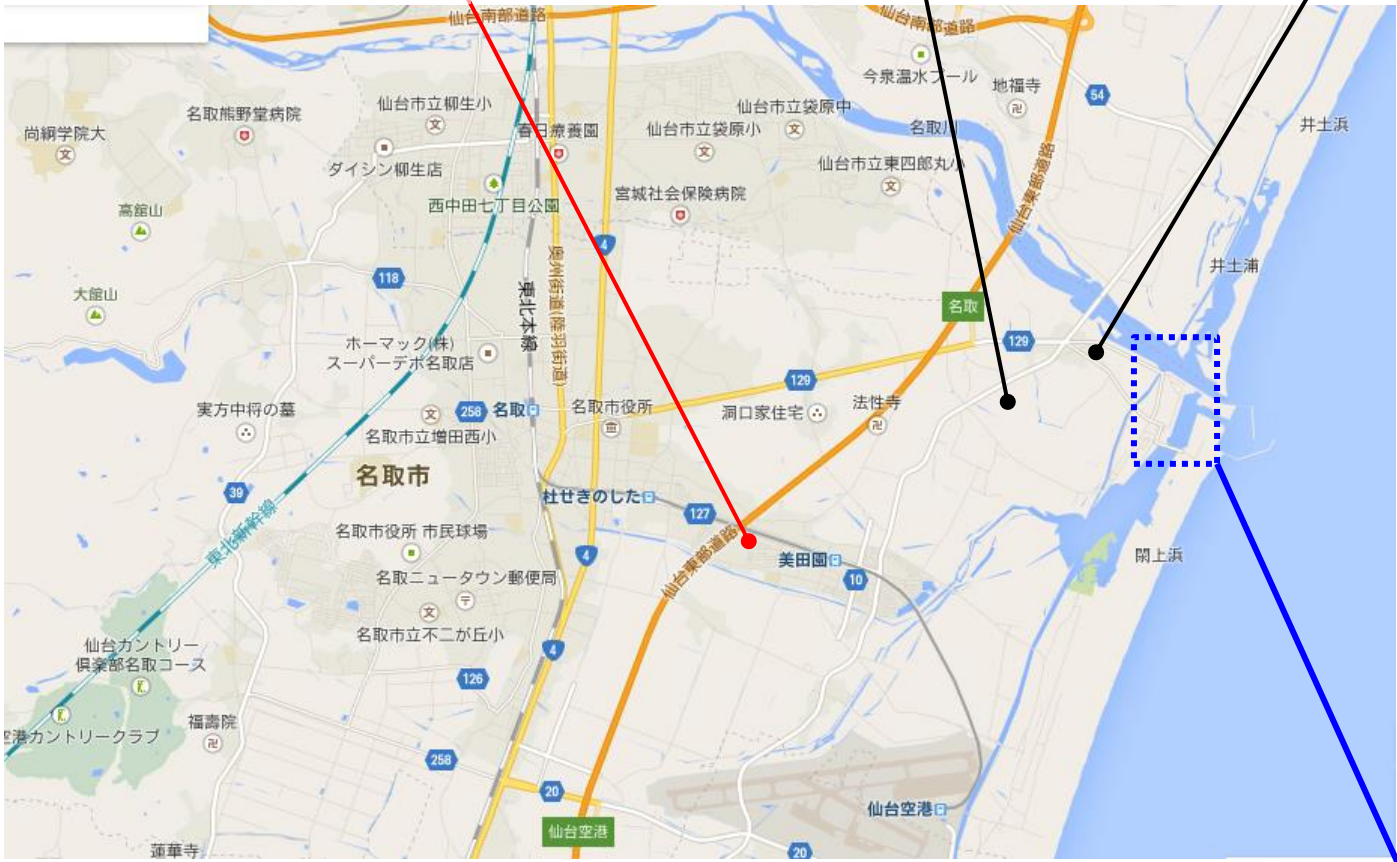
**陶器市開催会場(さいかい市場)付近**  
震災後、駅周辺の宅地開発が一気に進み、震災の爪痕は全く感じられません。都会の中の仮設商店、少し不思議な感じです



周囲の水田では全てではありませんが、海水の除去が終わり、稲作を再開しているところも見られました。



関上港付近のガードレールも大きく曲がったまま、未だその時の様子をとどめていました。



関上港周辺：がれきなどの撤去作業は進み、現在もまだ護岸工事が行われていますが、住宅があったところは更地のままです。



# 名取市での陶器市開催

イベントなどの少ない被災地で実際の陶器市のように、好きなものを選び、少しでも楽しんでもらいたいということで、これまで同様にチャリティー陶器市という形で開催しています。今回は名取市商工会、閉上さいかい市場振興会が主催する「閉上さいかい市場 3周年感謝祭」のなかで、さいかい市場の仮設商店、地元の産物などの出し物とともに陶器市を開催しました。

TEAM NATORI 絆 心ひとつに  
**閉上さいかい市場**  
名取市復興振興会主催  
おかげさまで **3周年感謝祭**  
平成27年 2月28日(土) 10:00~15:00

日本一の閉上さいかい市場  
赤貝のにぎり寿司(1貫)・600セット  
笹かま(1柄)・せり鍋(1柄)を準備  
日本酒または甘酒(1杯)  
計4品をセットにして **500円で販売**  
[当日券は600円]

マクロの焼練ショー  
おろしたて即席  
早い者勝ち!!  
ステージ前  
18:00

特設 肉や魚介類も焼ける!  
閉上海鮮炭火焼コーナー

盆子焼チャリティー陶器市  
日本一の閉上さいかい市場で、被災地の方々に少しでもお役にたてることを目的として、盆子焼の焼き立てを販売し、その収益の一部を被災地の方々に寄付させていただきます。

地域グルメ屋台横断店出店  
閉上たこやき  
産直ネットワーク

さいかい市場  
エコセンター

閉上さいかい市場  
スタンプカード発行中!  
参加店で500円お買上げ毎に  
1ポイント貯まります。  
閉上さいかい市場  
40ポイントで  
500円お買上げとして  
ご利用いただけます。

コミュニティエムなとり  
開局式典  
11:30~12:00

ステージイベント  
北上市楽団の演奏  
チアダンス  
マジックショー

↑3周年感謝祭のポスター(陶器市の記載も)

手づくり支援プロジェクトとしてはこれまで同様に秋の陶器市後から、塩竈周辺の自治体でのイベントに合わせての開催を現地の観光協会や仮設商店街などと相談しながら検討していましたが、年末にはこれといったイベントがなく、年をまたいで今回の開催になりました。

名取市商工会さんとは昨年末から調整を重ね、満を持しての開催となりました。

今回も多くの作家さんより無償で器を提供をいただきました。また県外の作家さんからもご協力をいただき、数としてはこれまで同等の約3000点を用意することができました。

震災から約4年とだいぶ時間が経っていますが、継続してご協力くださる作家さん、協賛店の方々、県外からもHPやご紹介で、関心を持って下さる方々など多くの関係者のお力添えのもと、プロジェクトは継続することができています。

手づくりの器は見て楽しめるだけでなく、実際に触れて使っていただくことで徐々に変化し、味が出てきます。復興へむけたこれからの長い道のりの中で、被災地の方々とともに毎日の食へのいろどりを与え続けられたらという想いを込めて、陶器市を開催しています。

末永く使っていただけたら嬉しいです。

## メンバーの活動風景 2月27日(金) 出発



- AM9:00 上三川に集合。  
上三川にて、これまで準備した器(約3000個)を梱包したコンテナ76個を車へ積み込みます。行程のフリージングなどを行い、まずは器を満載した先発隊で6名で出発しました。(今回は計7台、14名のメンバーで活動を行いました)



- PM2:30 上三川から約300km、現地へ到着、閉上周辺の沿岸部はまだ工事が盛んに行われていました。港周辺では水はけの悪いところや、そのままの建物がまだ残っていました。この地域は仙台空港のそばで、平地部の多くが津波と、土砂の吹き出しを受けています。





・会場は震災後にオープンした仮設市場で、今回3周年イベントを行います。現地到着後、事務局に挨拶し、明日からの開催に向けたレイアウト確認などを行いました。

## 2月28日(土) 名取市(関上さいかい市場 3周年感謝祭)での陶器市開催

関上さいかい市場は地元の商店や企業で構成される仮設の商店街です。地元の海産物を販売するお店、飲食店、惣菜屋、床屋さんなど、全28店舗が入っている仮設市場で、開設3周年記念のイベントとして開催されました。地元の多くの方々、地元のテレビ局、新聞社、名取市長なども訪れ、大いに活気あふれるものとなりました。

### 開催の様子①



・AM8:00 会場でのテント設営を開始。器のコンテナを降ろし、総動員で準備を行ないました。当日は海風が非常に強く、入念に固定を行いました。コンテナから器を出し、梱包を解いてアイテムごとに並べます。



・今回も約90名もの作家の作品が並び、10時からイベントが始まりました。今回は名取市商工会、さいかい市場振興会の主催するさいかい市場3周年イベントということで、朝から多くの地元の方々で会場がいっぱいです。



・一つ一つ手に取ってじっくりと選んでいます。震災後ほぼ4年、地元の方々の表情は明るく、うれしそうに選んで行かれます。名取市は仙台から近く、会場には小さな子供や若い世代もたくさんいらっしゃいました。南三陸町でもそうでしたが、こちらでもまだ復興住宅ではなく、仮設住宅の方がたくさんいました(計画予実はP10参照)。







## 開催の様子②



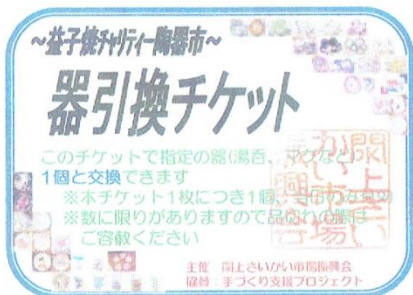
- ・陶器市テントへ案内するメンバー。今回もサンドイッチボードを掛け、会場へと案内します(左写真)。午前中強かった風もおさまり、暖かい日差しができました。メイン会場でのマグロの解体ショーイベントが始まり、梱包/会計処のメンバーもちょっと一息です。写真右は商店街で買い物をした方(下のチケット)の器交換コーナー。たくさんの方が商店街で買い物をして、こちらにきてくださいました。



- ・午後3時までのイベントですが、終了時間間際まで人足は絶えません。今回、大きめの器より小さめの器のニーズが高かった感を受けましたが、名取市では未だ災害公営住宅の完成が1戸もないためかもしれません。H28年度から完成し始める計画ですが、H30年の全戸完成に向けてまだ多くの方が仮設住宅(詳細は次頁参照)に住んでいます。



- ・天気の崩れもなく、約1500個の器を提供し、無事イベント終了です。片づけをして、メンバー皆で記念撮影。



回収したチケットとしては511枚  
(511個の器を提供)

←今回のイベントでは商店街の販売促進用に器の無料引換チケット(720枚)を作りました。配布の基準は各商店にお任せし、買い物をしてくれたお客様に配りました。

今回もチャリティー陶器市に多くの地元の方がいらして下さいました。岩手同様、宮城にも大きな窯元などが無く、このようなイベントは珍しいようで、本当に楽しかった、嬉しい、また来て欲しいと言った声が聞かれました。名取市でもだいぶ遅れているようですが、仮設住宅から復興住宅へ移ることができるようになると、ますますこのような器のニーズも大きくなると思います。仮設住宅が無くなる日まで、ニーズが無くなる日までこの活動を続けてゆきたいと思っています。

## 3月1日(日) さいかい市場にて(チャリティー陶器市の売上、器のお届け)

翌日、チャリティー陶器市の売上を集計し、さいかい市場の事務所へ全額寄付(詳細はP12)を行いました。今後の市場の運営費に活用するというので、とても喜んでいただきました。また、イベント運営に尽力し、当日陶器市に来ることが出来なかった商店街の方々へ、お礼とともに器もいくつか寄付をし、栃木に向け、帰路につきました。

# 数字で見る名取市の状況

(※2015/2時点 宮城県、名取市データより)

## 災害公営住宅の着手状況(宮城県データ)

※H27.2.28時点

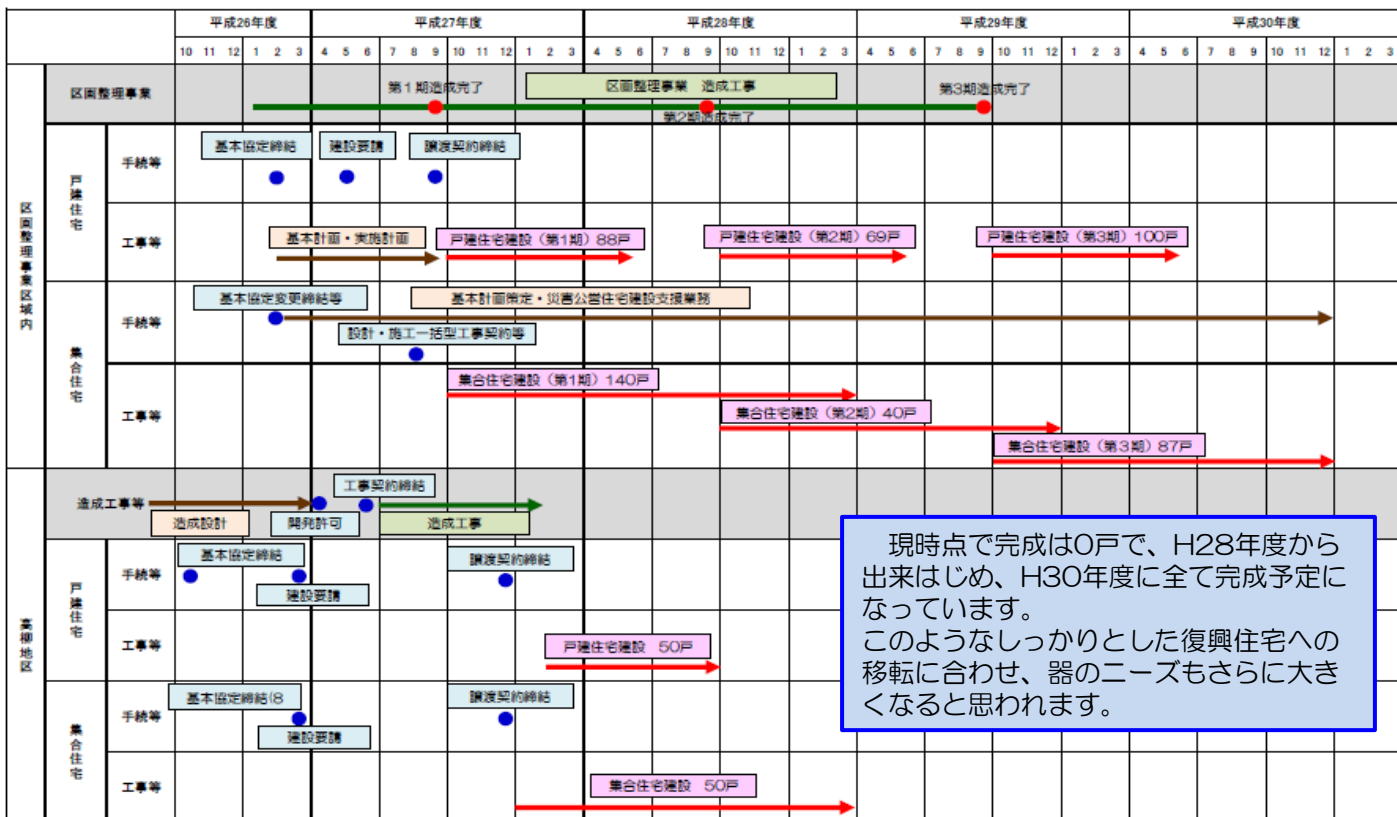
市町名	計画戸数	事業着手戸数		うち、工事着手戸数		うち、工事完了戸数	
		進捗率		進捗率		進捗率	
01 仙台市	3,179戸	3,179戸	100.0%	2,888戸	90.8%	783戸	24.6%
02 石巻市	4,000戸	3,285戸	82.1%	2,306戸	57.7%	430戸	10.8%
03 塩竈市	420戸	416戸	99.0%	280戸	66.7%	60戸	14.3%
04 気仙沼市	2,155戸	2,155戸	100.0%	473戸	21.9%	75戸	3.5%
05 名取市	716戸	420戸	58.7%	92戸	12.8%	0戸	
06 多賀城市	532戸	532戸	100.0%	482戸	90.6%	160戸	30.1%
07 岩沼市	210戸	210戸	100.0%	210戸	100.0%	111戸	52.9%
08 登米市	84戸	60戸	71.4%	60戸	71.4%	60戸	71.4%
09 栗原市	15戸	15戸	100.0%	15戸	100.0%	15戸	100.0%
10 東松島市	1,010戸	657戸	65.0%	577戸	57.1%	321戸	31.8%
11 大崎市	170戸	170戸	100.0%	170戸	100.0%	105戸	61.8%
12 亶理町	477戸	477戸	100.0%	477戸	100.0%	197戸	41.3%
13 山元町	484戸	401戸	82.9%	353戸	72.9%	182戸	37.6%
14 松島町	52戸	52戸	100.0%	52戸	100.0%	40戸	76.9%
15 七ヶ浜町	212戸	212戸	100.0%	212戸	100.0%	0戸	
16 利府町	25戸	25戸	100.0%	25戸	100.0%	25戸	100.0%
17 大郷町	3戸	3戸	100.0%	3戸	100.0%	3戸	100.0%
18 涌谷町	48戸	48戸	100.0%	48戸	100.0%	22戸	45.8%
19 美里町	40戸	40戸	100.0%	40戸	100.0%	40戸	100.0%
20 女川町	918戸	508戸	55.3%	230戸	25.1%	225戸	24.5%
21 南三陸町	738戸	738戸	100.0%	224戸	30.4%	104戸	14.1%
計	15,488戸	13,603戸	87.8%	9,217戸	59.5%	2,958戸	19.1%

左の表のように災害公営住宅(仮設住宅からの移転)についても、名取市も工事の着手はしているものの、完了戸数の進捗率は0%ということで、まだ1戸も完了していません。

下の日程が建設予定で、3年後の平成30年度に全戸完成させる目標になっています。

現在の仮設住宅は現状1年間の延長措置が取られているものの、計画ではまだ3年かかる予定なので、さらに延長措置がなされるものと思われます。私たちは引き続きこの活動を仮設住宅が完全になくなるだろうと考えている2018年(H30年度)を一つの目標として支援を継続してゆきたいと考えています。

## 災害公営住宅の整備状況(名取市データ)



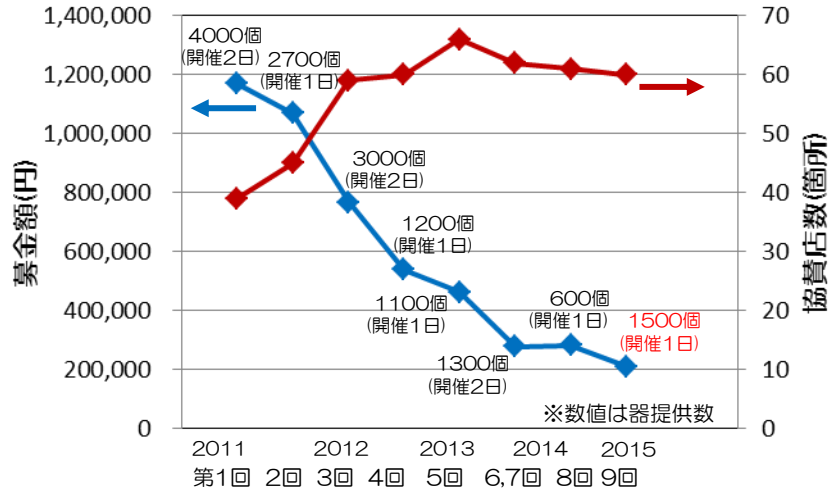
現時点で完成は0戸で、H28年度から出来はじめ、H30年度に全て完成予定になっています。このようなしっかりとした復興住宅への移転に合わせ、器のニーズもさらに大きくなると思われます。



# 震災から4年、様々な変化について

この4年間で東北の被災地に約15500個(無償やチャリティー販売)の器を提供し、売上(計186万円)を全て寄付してきました。それらは仮設住宅や復興住宅、店舗など様々なところで使っていただき、喜んでいただいています。陶器市や協賛店での募金額の減少もありますが、作家さんの協力のもと、無償提供いただく器の割合も増えて、毎回約2500~3000個の器を準備し現地へ持ってゆることができています。

現地では以前に比べ、じっくり器を選んでゆかれる方が増えています。仮設住宅では収納上の問題もあり、器を置ける数は限られてしましますが、その器の数もだいぶ揃い、本当に欲しいもの、良いと思うものを選べるようになったんだあと実感しています。一方、幸いにも早期に復興住宅に移ることができた方々は、新たに家族分の揃いが欲しいなど、ある程度の数が必要で、また求める器の種類も長皿や小、中鉢など、これまで以上に多様なニーズが増えてきています。今後はこれらの現地の声をもとに、これから増えてゆく復興住宅でのニーズに添えてゆけるように準備をしてゆきたいと思います。



手づくり支援プロジェクト募金額と協賛店数推移

募金に関してはこれまで同様に減少方向ですが、あらたな募金促進グッズの製作やさまざまなイベント活動を行い、維持してゆこうと考えています。あらたなグッズとしては革のキーホルダー、カードケースやペンケースなど(写真)を製作しています。また、これまでの支援活動を報告するPRイベントでの物産販売、岩手宮城などの各県人会での活動PRなども継続的に行っています。協賛店では新たな価値と募金しやすい値段設定などにより、好評を得ています。1店舗当たりの募金額が減少しても、より多くの方々が協力してくださることで、大きな力につながります。引き続きお力添えをいただけましたら幸甚です。

## メンバーによる手づくりの募金促進グッズ



本革製のマウスパッド



本革製のコースター



本革キーホルダー



サンキャッチャー



手彫りハンコの絵葉書



鮎バッジ  
(協力作家さんによる作品)



いろいろな革小物

# 第9回手づくり支援プロジェクトまとめ 収支

## 収支報告

- 準備(無償/購入)器数 : 約3000点 (うち提供数(無償600+販売900) : 1500個)
- 協力作家数 : 約90名(HPへの非記載分含む)
- 協賛店数 : 60箇所(2015/3時点)  
※協賛店: 当支援の趣旨に賛同いただき、募金箱やメンバーの募金促進グッズの設置協力をいただいているお店、募金促進グッズ用の革、器などをご提供いただいているお店など

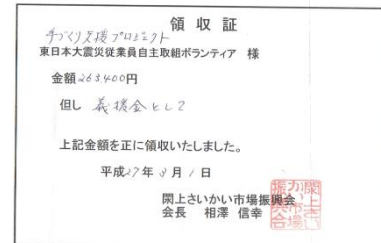
### 収入(募金分+繰越分)

- 合計(2/25時点) : 209,866円 (325,228円)  
募金額内訳
  - 個人 : 10,8250円(うち振込み16,000円、それ以外92,250円)
  - 協賛店 : 101,616円(作家さんによるイベントでの募金含む)
  - 繰越金(第8回) : 115,362円

### 支出(器購入費、グッズ材などその他経費)

- 合計 : 296,938円  
内訳
  - 作家への支払い : 81,796円
  - グッズ製作費/募金推進用材料費  
(ボード/募金箱、その他雑費、郵送費、器着払送料、展示会経費) : 215,142円

28,290円(第10回へ繰越)



### チャリティー陶器市での収入(商店街での器販売分)

- 合計 : 263,400円

売上は全額(263,400円)を、さいかい市場振興会へ寄付し、市場の運営資金などに使っていただくこととしました。

### その他

(宿泊費@14名 計120,200円 : 全てメンバー自費  
また、現地移動費の一部を本田技研工業株式会社より援助いただきました)

今回は名取市の方々のたくさんの笑顔を見ることができました。

プロジェクトの支援メンバー、作家さん、協賛店の方々、支援金をいただいた多くの方々のおかげで第9回の東北支援活動が達成できたことを心より感謝しています。震災から4年、時間の経過とともに支援の熱が冷めてゆく中、協賛店や作家、メンバーの広がり各地からの支援の輪が繋がり、これまで同様に継続、開催することができました。(今回も多くの作家さんから無償提供のご支援をいただきました。)

この活動を続けてきて様々な現地の現状、人々の感情の変化などを見てきました。仮設住宅の居住期間の延長措置とともに、復興住宅への引越しも少しずつですが始まっています。また流された商店などの地元物産販売の全国ネット展開や新たな付加価値を付けた商品開発など、以前では想像もしなかったであろう大きな変化も生まれています。震災があったからこそその新しい挑戦がたくさん生まれていて、明るい兆しも実感として感じています。東北のひとびとの持ち味である、決してあきらめない心と日本の多くの秀逸な技術力が合わさって危機をチャンスへと活かす動きが広がっていると思います。

私たちもこれから徐々に増えてゆく災害公営住宅の完成に向け、器のサイズや種類など、変わってきた地元の方々のニーズに合わせるとともに、どのような支援のかたちがいいのか、継続の仕方を含め試行錯誤をしてゆこうと思っています。小さなプロジェクトですが、メンバー丸力を合わせて継続してゆきますので、今後ともどうぞ変わらぬお力添えのほど、宜しくお願いいたします。

手づくり支援プロジェクト 光房みち



## 第9回手づくり支援プロジェクト参加メンバー



### ・第9回お届けメンバー

吉田弘道	田中之人	斉藤有紀・昂成	加藤航一	豊田将平
鈴木祥子	加澤祐輔	松谷正博	浦田健太	宮島一嘉
谷雅樹	谷本智	松森裕史	川又和子	

### ・協力作家(名前の順)

相澤かなえ	笠原良子	斎藤圭	中村かりん	増永典子
阿久津雅土	梶山友里	坂本光永	成田真澄	豆腐なる美
岩見晋介	勝村顕飛	坂本雅子	能登美登利	Masa
池上暁生	加藤博史	佐藤敬	野水美里	三戸綾乃
伊佐名美子	加藤弓	茂野俊也	増漣	溝口丈
石嶋哲彦	加藤喜道	清水秀輝	長谷川奈美	宮島将實
いちかわ清美	川崎萌	荘司武臣	長豊陶苑	松下曜子
伊藤ヨリ	川島郁朗	菅谷太良	蓮見かおり	松下忠生
大塚温子	上條富子	薄田いと	原泰弘	もときみちこ
大津広子	川又和子	ジエビエブガール	平泉志津子	
奥住久雄	木村世傑	関口洋平	平松龍馬	吉澤奈保子
小野悦子	国友武志	関口まきこ	福地綾子	アソケイ
おぬきなつ	桑川通治	関川佳古	福田惣一	若菜綾子
岡本芳久	倉前幸徳		福山龍之介	渡辺キ工
岡本有希子	栗原節夫	瀧昭典	藤田安雄	渡辺六郎
岡田直恵	桑原純	豊田雅代	藤井美香	渡辺克典
岡部耕太郎	後藤義国	陶遊舎谷口	杵加加利	その他多数
おとがわさとこ	近藤康弘	戸塚佳奈	堀水小夜	
尾関翼郎			堀水達雄	

### ・支援してくださった多くの方々

協賛店の方々、光房みちの友人、職場のみなさん、メンバーゆかりの多くの方々、報道関係の皆さま、本田技研工業株式会社

・協賛店(募金箱/グッズ設置協力)

## Company

シヨイコム株式会社  
ソフトバンク インターパーク宇都宮  
ソフトバンク宇都宮東  
ソフトバンク鹿沼  
ソフトバンク古河  
ソフトバンク真岡

パインズ日光ゴルフ倶楽部

株式会社つかもと  
作家館 つかもとギャラリー  
陶芸広場つかもと  
つかもと記念館  
株式会社 日本ヴォーグ社  
国際医療福祉大学病院  
EX-サービス株式会社

## Cafe & Gallery

GALLERY IN THE BLUE  
Cafe R hana  
QupuQupu  
Café KENZOSUN  
益古時計  
GALLERY TAS TAS  
CAFE CENTRO  
作坊 吃(ゾーフアンチャー  
イチトニブンノイチ  
ミハシカフェ

## Select Shop

ハナムグリ  
GOURD+m  
うつわ坂  
アートショップ向井  
相玄窯の店 木洩れ日  
仁平古家具店  
益子 第二倉庫  
釉日

## Beauty

PESCA-COCCA  
Handmade soap SQUAMISH  
salon kyoko  
minori理容所  
UppityCovo  
hair Labo natura  
Ripple Marks HAIR  
seal hair work

## Education

バナナキッズ (英会話教室)  
雀宮校、戸祭校

## Stay & Culture

二期倶楽部 アートビオトープ那須  
NAO テニスクラブ

## Food

pain de musha musha and coffee  
パン茶房 小梅堂  
ぱんとおかし ノアン  
食工房NO-RA  
とらっとりあ天野  
Taverna Sakurai  
銀座園  
サン・クリストフォロ  
Bis-t-eria Meli-Melo  
TORATTORIA da RIOBA  
鮎暁  
Conifers  
らー麺 藤原家

ホイッスル用の革を提供していただいています。  
Special thanks!

オーダーメイド靴  
銀座てつじ屋

レザークラフト  
井戸辰ドットコム  
READY OR ORDER  
石井裁断所  
(株)廣瀬

ハンドバッグとトータルファッショングッズ  
株式会社クイーポ



# 第10回手づくり支援プロジェクトについて

第10回は宮城県の塩釜市/七ヶ浜町あたりを検討しています。春の益子陶器市後の7月の開催を目指しています。塩釜市は宮城県のほぼ中央、仙台市と松島の間位置し、人口(約5万4千)、水産業が盛んで、松島湾と松島丘陵に囲まれており、平地のほとんどは埋立地(市街地は、埋立地が6割、丘陵地が4割)であるという特徴があります。

震災では市域面積の約22%、浦戸地区では全島において居住区域に達するなどの被害を受けました。周辺自治体に比べ被害は小さめですが、被災住家のうち全壊が1017件、大規模半壊2240件、半壊2308件、一部損壊は7768件となりました。

歌手の大友康平さんや声優の山寺宏一さんの出身地でもあります。

## 1. 被災状況(市役所公表データ 2014/4時点)

- **死亡者数 47人**
- **災害関連死 18人**
- **仮設住宅数 206戸(8箇所)**

※当時の被災写真は市HPなどより掲載



本塩釜駅周辺地区



藤倉地区



桂島地区



新浜町地区



マリングート付近



塩釜港埠頭

開催情報は詳細が決まり次第、手づくり支援プロジェクトのHPにアップいたします。引き続きみなさまのご支援、お力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

◎お問合せ「手づくり支援プロジェクト」で検索  
<http://handmade-project.iimdo.com/>

◎支援金の口座 / 銀行振込  
足利銀行：駅東口出張所 (普) 3230334  
口座名義 手づくり支援プロジェクト



※携帯からはこちら↑



作家さんと第9回お届けメンバーの写真



**手づくり支援プロジェクト**  
<http://handmade-project.jimdo.com/>

